

I. 日時：平成23年2月15日(火) 13時半から16時まで

II. 場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：木村委員長、大嶋委員、金子委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

心理学におけるICTについて具体的な授業をイメージして検討する。

- ・ 1案「学習心理学、行動分析学をイメージした授業構想」資料参照
- ・ 2案「条件づけと学習をイメージした授業構想」資料参照
- ・ 3案「心理学研究法をイメージした授業構想」資料参照
- ・ 心理学独自のICTの役割について考えることは難しい。
- ・ アンケート結果からは、学生は教場授業を好む傾向にある。
- ・ 学生が授業評価するようになった時代背景を理解して私情協の提案を検討する必要がある。
- ・ 協同学習の視点が必要ではないか。
- ・ BBSもチャットスペースもあるが、学生が自主的に使うことは少ない。
- ・ BBSを使うメリットを感じさせる必要がある。
- ・ 海外からの発信を利用することも考える。
- ・ アメリカで使われている「心理学教育における傑作集」も参考になる。
- ・ 心理学は高校の課程で全く学修していないために難しい面がある。
- ・ 心理学の実験についても、実験方法や処理法について積み上げる必要がある。
- ・ 現在の学生は互いの意見を否定しない風潮がある。討論を纏めることも教育する必要がある。
- ・ 情報をつぎはぎするのではなく、自分の意見を纏めるように指導しなくてはならない。
- ・ 臨床心理学系についてはICTに馴染まない面もある。アンケート調査ではICTが有用である。
- ・ 現行の授業方法ではなく、全く新しい方法を提案する必要がある。
- ・ ファイルサーバーを利用した授業の振り返りを具体的に提案したらどうか。
- ・ 15回の授業ではなく、あるいは学部教育全体を見通した授業方法を提案してはどうか。
- ・ 基礎を従来通り分割して教えることは改革する必要がある。
- ・ 先生が連携して授業する方法を提案する必要がある。

2. 次回までの宿題

到達目標1に統一して考える。

従来座学に含まれる教育内容を、ICT化した授業をイメージして、近未来の授業を考える。

V. 次回の開催日程

日時：平成23年3月23日(水)17時から19時まで or 26日(土)16時から18時まで

場所：私立大学情報処理教育協会事務局